

父

と娘

...

姉

と

弟

...

娘が父の妻となり...

姉が弟の妻となる...

家族だ
から...
血の繋
がつた

作・みるく工房

これは とある家族の物語…。

三歳違いの弟 マサキのことを姉のナナミは とても可愛がり
彼の面倒をよく見てやっていた…。

マサキが物心ついた頃には姉弟の母親は
家を出てしまっていたので 心優しいナナミが
彼の世話を焼いてあげた…。

姉のナナミ
〇〇歳

弟のマサキ
〇〇歳

母親不在の食いたい暮らしながら
幸せに過ごしていた姉弟だったが……

おいで
マー君♡

はあ

それから三年経った今……

はあ

はあ

およそ〇〇歳とは思えない
はち切れんばかりに成熟した乳房を
揺らしながらナナミは汗だくで歩いてきた……
露出した肌を虫に刺されまくりながら……

はあ



ここは……付近に人家など全く無い
かなり山奥へと続く一本道……

家族三人この先にある廃屋を目指し
大荷物を背負い何時間も上り下りを
繰り返していた……

疲れたよ

はあ

ほら
頑張れ!

ナナミ

休みたいよお
お父さあくん

はあ

はあ

初夏の陽気はナナミの体力をどんどん奪い
彼女はもうフラフラだ……

だらしない父親のせいで
夜逃げする羽目に陥った姉弟は
借金取りから逃れるために
父が促すままにこの逃避行を
続けていたのだ……



ようやく… 山中に建つ朽ち果てた廃屋に
辿り着くと同時に ナナミは失神してしまった

ああ…
やっと…

着いた…

すう…

静かな所だろう？
ナナミ…
誰も居ない俺達だけの
隠れ家だよ…

すう…

すう…

はあ…

はあ…
暑かったあ…

はあ…

体力を完全に消耗し尽くし意識を失った娘を
抱きかかえた父親… 何故か彼はソワソワしていた

ちよつと父さん
ナナミの具合を
奥の部屋で
みておくから…

すう

父さんが声を
かけるまで奥の
部屋を覗いちや
ダメだぞ！

すう

すう

えっ？

う…うん
分かった…

外で虫でも
探しておいで…
マサキ
虫好きだろ？

うわずった声で父親は息子のマサキを
廃屋の外へ厄介払いした…

マサキは少し不審に思いつつも
素直に従い外へ出て行った…

あう…

ナナミい
起きるな
よお…

はあ

はあ

はあ

はあ

ドサッ！

父は意識の無い娘を奥の部屋の片隅に置かれていた
汚れたクッションの上に寝かせ 慌てて服を脱ぎ全裸になった…

疲れ切り意識を失った娘の陰部…
彼は そのぬめる秘肉に指をねじ込み
尻を撫でまわして彼女の肉体の温かさと
柔らかさを堪能した…

くううう
生温かくて
ヌルヌル
だぜえ♡

なで
これが愛しい
我が娘の
生マ○コかあ

あうう

んああ

目え
覚ますなよお
ナナミい♡

はあん

ああん

血の繋がった実の娘の… その豊満で淫らな肉体を
心ゆくまでイタズラする… これこそが彼の目的…
この逃避行最大のイベントだった…

着衣を剥ぎ取られ 深い眠りから目覚める事も出来ず
実の父親に散々弄ばれ続ける娘のナナミ...

はぶあ
ナナミい

んええ

あう!

はああ

ああん

父の手慣れた優しい愛撫に意識の深層で喘ぎ 身悶える娘...
彼女の豊満な肉体は無意識の中でも快楽と歓喜と悦楽の世界に
実の父によって導かれていった...

ケツツ穴
ほしかり
おこうな
あ

血の繋がった実の父娘が山奥の廃屋の中...
誰はばかりことなく全裸で二人きり...

んぼぼお
ナナミいよ
可愛いよ

んむっ

んもっ

むぐ

んんん

んむむう

んぐうう

夢みたいだよお
ナナミい!
裸のお前をこうして
抱けるなんてえ!
父さんの願いが
叶ったよおお!

ナナミは一生
俺だけのぞお
嫁さんだぞお
もう死ぬまで
一緒だぞお!

父のたくらみ通りにコトは運んで 今 ナナミの淫らなカラダは
彼の思うがままに抱かれる 温かくて柔らかい肉の人形にされてしまった...

薄暗い廃屋の中で実の娘の熟しきった乳房を思う存分
吸いまくり・しゃぶり尽くす父親...

チュウウウ

あまりの気持ち良さに夢の中で喘ぎまぐるナナミの姿...

んむっ！
うぶぶう

おぶぶっ
んむぶう

んむぶうっ
おぶぶうう

うはあああ
ああああん

はああん♡

んああん♡
へはああん♡

実の父娘の織り成すおぞましい肉欲劇...
そんな光景の向こう側で何も知らずに独り
無邪気に虫を追うマサキの姿があった...

娘に対する劣情が溢れ出し、欲望が抑えられずに父親は
ひたすら狂ったようにナナミの肉体を貪り続けた...

彼が溜め込んでいた大量の精液を、意識の無い彼女の肉体が
搾り尽くすまで凌辱は止まなかった... その頃には日も暮れて
すっかり暗くなっていた...

チュルル

チュルル



あれ？
ここ……
どこ……？

あ……そっか
私達……
夜逃げして……



あう……う

んう……



何っ？！

なんで私
こんな
カッコに？

ウソでしょ？
なんでえっ？！

ええっ？
ええっ？

目覚めたナナミは驚いた！
彼女の着衣は家出した母が愛用していた

露出の高い下着に替えられていたからだ……

ナナミは父の言葉に耳を疑った。。。家族全員の衣服の予備など一切置いてきたというのだ。。。ドキドキ

あ：あの
お父さん：
ナナミの服
何で脱がされて：

えっ！嘘っ！
そんな：
何でなの？
どうして二人共
裸なの？

やあ！起きたのか
ナナミ：
メシ出来てるぞ
さあおいで
温かいうちに
早く食べよう！

ねえ：私の服
お父さんが
脱がせたの？

ここは山奥だというのに夜でも寒くはなく丸裸でもちょうどよく過ごせる気温だった。。。ゴク：

ああ：汗びっしょり
だったからね！
カラダじゅう虫に
刺されてたから
クスリを塗ったりさ：

その下着：
マサキと二人で
着せたんだよ：
今はそれで
我慢してくれ！

弟のマサキは実の姉の
下着姿に生唾を呑み
彼女を見つめていた...

。。。そんなあ：
二人して私の裸を
見ちやつたのお？
ウソお！嘘でしょ：

ナナミも。。。困惑しながらも父や弟に対して特別な感情が芽生えてきている事を感じていた...

家族三人 焚き火を囲んでのぎこちない食事…
ナナミは努めて平静を装っていたものの、どうしても
父や弟の いきり立った大きくて太い肉棒に目を奪われてしまう…



まるで見せつけるように、二人共その むき出しのペニスを
彼女の眼前にさらし続けながら、廃屋での初めての夜を過ごした…

ナナミは息が荒くなるのを抑えられずに、ただひたすら彼らの股間を
凝視し続けながら興奮に声を震わせつつ二人と会話した…

夜も更けて 家族三人 身を寄せ合い「川の字」になって眠った...

あう……

$$\begin{pmatrix} h \\ \vdots \\ h \end{pmatrix}$$

ナナミもマサキもすぐに
深い眠りに落ちてしまったが
父親の手は眠る娘の乳房に伸びて

その柔らかな感触を楽しみ続ける...
大きな乳輪の先端が固くなり眠る
ナナミは無意識の中で喘ぎ始めた...

さらに彼女の左手首を掴み自身のいきり立ったイチモツを握らせ ショかせ続けた…

父親の性欲が収まるまで その行為はひたすら続く・・・
こうして娘のナナミは父の肉棒の手触りを、その匂いを
性の愛撫の気持ち良さを脳裏に しっかり刻み込まれていった・・・

そんな…家族三人 無人の山奥での裸の生活にナナミもすっかり慣れた頃
父は息子のマサキが外へ遊びに出たのを見計らって 娘のナナミを廃屋内の
暗がりへ「話がある」と誘い込んだ…

ゴメンなナナミ
こんな目に
遭わせて…
辛くないかい？

わー
カナブンだあ

気にしないで
お父さん♡ナナミ
家族みんな
一緒に居られるなら
幸せだよ！

この生活も
結構楽しいよ♡
ナナミ裸でも
もう平気だし！

父と娘の二人っきり…
彼女は何の疑いもなく
丸裸の父親と向き合っ
て会話していた…

ナナミっ

がばっ

きやつ！

おっ
お父さん!!

きゅん

好きだよっ

スゴいなっ♡

初めて見た
山って
いいなあ！

わっ
い♡

廃屋の中で今 起きている事も知らずに
無邪気に虫たちと戯れるマサキの姿を横目で見ながら
血の繋がった父と娘は禁断の世界へと踏み込んでいった…

突然 裸の父に抱きつかれた娘のナナミ...

戸惑いながらも彼を振りほどけない...

どうして
なのにお
いしく持
いいおち

はわわあ
お父さあ
ん!

何するの
お? ダ
メええ
ええ!

こんなコト
されてるのに全然
嫌じゃないよ
はあもつと
強く抱いてええ

あああ
あつ
ゴメンよ
お!
ナナミい

お父さんのコト
見捨てないで
くれよお

この少女、ナナミの父への間違った感情が今
激しく湧き上がる! 毎日見せつけられ続ける
肉棒への思いが爆発しそうになる...

大丈夫だよ
ナナミはど
こにも
行かないよ

死ぬまで
ずっと
お父さん
と一緒だ
よお!

愛してる
う!
大好きだ
よお
ナナミい
い

彼女は自分の心に従い 父にされるがままにその身をゆだねる...
ナナミは実の父親のすべてを我が身で受け止める事を決意した...

夢のようだよ……
可愛い娘のお前と
こうして裸で
抱き合えるなんて……

はあ

はあ

はあ

ドキドキ

ぎゅっ

父さんも
ホントに嬉しいよ！
ナナミの吐息を
こんなに間に
感じられて……

今私お父さんの
でっかいおち○ち○に
またがってるんだわ♡
スゴく嬉しい！私って
こんなにエッチな子
だったんだあ♡

ああ……
どうして
なのお？

はあ

はあ

ドキ

お父さんのカラダ
ちつとも嫌じゃない！
どうしてえ？この匂い
なんか好きい……
こんなことされるの
初めてなのに何でえ？

すぐそばに
マー君がいるのに
もう逃げらんない
よお♡止めらん
ないよお♡

はああ お父さあん
私もだよお♡
なんか嬉しいのぉ
へんな気持ちなのぉ

ナナミ：はつきり
告白するよ
好きだ！愛してる！
父さんと
結婚してくれ！

今までずっと
言えずにいたんだ
この気持ち受け
止めて欲しい！

ふうっ

ドン

はあ

ふうっ

はあ

はああ……
そんなあ……

私達
実の父娘
なのに……

ナナミなんかで
いいのお？
お父さあ♡ん！

ドン

ドン

ドン



ああっ！なんて
可愛いんだ！
ナナミっ！
お前だから
いいんだよ！

血の繋がった
実の娘だから
いいんだよっ！
このカラダが
父さんを狂わせ
てるんだよ！

んむっ

あむう

むぐう

家出した母さん
以上に淫らに育った
お前のカラダが
欲しいんだっ！

まだ〇〇歳のクセに
こんなにもいやらしく
熟れまくった肉体で
父さんを
挑発しやがってえ！



クソっ！お前の唇だ！
なんて柔らかいんだ！
意識のある娘と
舌を絡ませることが
こんなにも楽しい
なんてっ！

へはあ

えぶう

んええ

くふう

ナナミ！お前は今から
俺のお嫁さんだ！
父娘二人 心ゆくまで
セックス
しまくらうなっ！

愛してるよ！
大好きだよ！

んはああっ
いいよっ！

お父さんが
望むのなら ナナミ
アナタの妻になるっ！
もうどうにでもしてえ
私をもっともっとと
狂わせてえっ！

へおう

へぼお

〇〇歳の少女 ナナミの初体験は こうして逃避行の末
血の繋がった実の父親と廃屋の中で密かに愛し合い 無心に
互いの肉体を貪り合う禁断愛で染められてしまった...

おほ
お

えは
っ

は
へっ

んほ
おお
おっ
お

へう
うっ

くは
ああ

んへ
ああ

へん
へええ
あああ

遂に念願を果たした
父の肉棒はギンギンに
いきり立ち 容赦なく
ナナミの陰部に
ねじ込まれてゆく...

彼女はただ 父の欲望のおもむくままに犯され続けた...
こっそり盗み見続けていた彼の太くて大きな肉棒が 今
自分の子宮をかき回している... 女の悦びに浸り
ナナミは無我夢中で父の愛撫に身をよじらせ悶え狂う...

弟がすぐ近くにいる中で気付かれないように愛し合う姉とその父...
そんな緊張感が二人の淫らな行為をより激しく過激にさせていった...



いなくなった母に替わって父の肉棒の味を教え込まれてゆくナナミ...
完全に彼のカラダの虜にされてしまった娘は こうして終わりのない
父子相姦の愛欲地獄に堕ちていった...

ナナミの子宮の奥底に眠っていた「淫欲スイッチ」は
実の父親の極太肉棒によって何度も繰り返し激しく押され 突き上げられ続け...
とうとう彼女の理性は粉々に碎かれ吹き飛んでしまった...

父娘二人の愛欲劇はマサキの眼を盗んでいた所で繰り広げられた。

お父さんの
チ○ポ
いい匂い
♡

はふっ

んはあ

んええ

へはあ

家族三人 水浴びに行った際もカナミは父のカラダを洗ってあげるフリをして彼のペニスを嬉しそうに舐めまわす。

深夜... マサキが熟睡している傍らでも
父と娘は互いの性器を夢中で貪り合う...

おほお

はぶっ

んぐつ

くはあ

もこお

す

ナナミにとって いつ弟に気付かれるか分からない
ドキドキ感と背徳感が より一層父への性欲を昂らせていった...

深夜… マサキが熟睡している傍らでも
父と娘は互いの性器を夢中で貪り合う…

ナナミにとって いつ弟に気付かれるか分からない
ドキドキ感と背徳感が より一層父への性欲を昂らせていった……



どうかな？
マー君…

似合ってる
かな？
えへへ…

そこには… 無残なまでに
断髪されまくった姉…
オナミの姿が…



おっ
お姉ちゃん？
その髪…
なんで？

あつ！
マー君！
お帰り♡

さらに… ある日
マサキが昆虫探しから
もどってみると…



はあ

なんかなの
いやらしいに…

はあ

あは…

あはは

二人と
おそろいだね♡

これなら
色々楽しく
動いても
楽だから…

えへへ

はあ

ドキ
ドキ

もの凄く
エッチな
感じがする…

何故か丸裸にされた彼女の全身には
切り刻まれた髪の毛がびっしりとまとわりつき

まるで弟を挑発するかのよう
にその汗だくの肌を 陰部を見せつけていた…

心



ねっねっ
しょうよー！

んああ

ナナミを押し倒し、今まで散々覗き見た
父と姉の激しい性行為をマネしてマサキは
必死になつて彼女の膣に自分の肉棒を
ねじ込み懸命に上下に腰を振りまくる……

気持ちいいっ
もっとおおっ
もっとしてえ！

まっまくんの
チ○ポでつかあ
いスゴおおっ！！

んぎやあ
あああ

愛してる
よおお

くおおおお
好きだああ

ナナミ
姉ちゃん

うっひょっ

僕と
せつくすう！

山中に響きわたる姉弟の喘ぎ声……
姉、ナナミの泣き声がより一層
弟の性欲を掻き立てる……

実の弟の肉棒の味……
父譲りの、その太さや大きさに姉のナナミは
目ダレを垂らし狂喜し悶え狂う……

父が「婚約首輪」としてナナミの首にかけたドングリのネックレスが
ちぎれるくらいに姉の肉体は乱暴に揺さぶられ続けた……
弟の溜まりに溜まった大量の精液は姉の子宮めがけ、もの凄い勢いで
注入されてゆく……

こうしてナナミは毎日 何回も 実の弟とも裸で愛し合う生活を送り...



朝から晩まで実の父親の肉棒にも責め立てられる近親相姦の性欲地獄にその身を堕としていった...

連日連夜 昼夜を問わず父と弟に犯され嬲られ続ける ナナミの肉体は どんどんいやらしく成熟していく...



着衣を身にまとう事を許してもらえず 常に全裸同様の裸族生活を父に強要され ナナミの羞恥心は破壊されていった...

お姉ちゃん スゴいよっ! 可愛くて いやらしいっ

なんて デカ乳だ! さすが俺達の 花嫁だよ!

そんな彼女のカラダは尋常ではない 速さで発育してゆく... こん見えて ナナミはまだ○学○年生... ○○歳になったばかりの少女なのだ...

「おねだりの舞い」……
夜「廃屋」の中で火を焚き
その前で汗だくになりながら
無心にデタラメな呪文を唱え
祈りをささげる爆乳少女ナナミ……

これは父親が娘に仕込んだ演出……
ナナミを近親相姦に耽溺させるための
心理操作のテクニク……

彼女はまるで自分が
巫女にでもなったかのように
ひたすら自己陶醉のための儀式に
狂ったように浸り続ける……

この無人の山奥へ連れて来られて……
彼女は父親の狙い通りの「淫らな色」に
どんどん染め上げられてゆく……
常に父や弟の肉棒と精液の事だけが
頭にない色欲に狂った一匹の牝の獣
と化してしまっていた……

さあナナミ
汗いっぱいいたる♡
チ○ポでノドを潤せ!
精液が神様への供物だ

巫女であるお前が
神の替わりに
男の精をたっぷりと
するんだ♡

はわわ..
お姉ちゃあん

はああ..

嬉しい!
二人の
おち○ち○っ♡

実の父と弟の充血しきった肉棒を前に
頬を紅潮させて狂喜する爆乳少女ナナミ...

ナナミだけの
素敵な
ご褒美♡
夢じやないのね!

二人同時に相手をするのは
今夜が初めての彼女...

家族想いの優しい娘は父親のもくろみ通りに
性欲処理の淫らな肉人形に生まれ変わってくれた...

くふう!
ナイぞ!
ナナミ

今夜は三人で
とことん
愛し合おうな!

うくっ!
いいっ♡

ああっ! 幸せえ♡
二本イッキに
しゃぶれるなんて
スゴいよおんて♡



むぶっ

おいちいっ♡
弟の：マー君の
おち○ち○っ！

お父さんのチ○ポ
大好きっ！だけど
二人と一緒に裸で
過ごすのはもつと
楽しいっ！
大好きよおっ！

うぶう

おぼっ

でっかい
弟チ○ポ♡
これなら姉弟で
いっぱい
楽しめるね！

うぐっ！
おいっ♡
お姉ちゃんの舌が
グリグリ先っぽを
舐めまわしてるう

弟の前ではしとやかで優しい姉を演じ続けてきたナナミ……
衣裳も理性もかなぐり捨ててとうとう本性を現した……



無我夢中で肉親のペニスにむしゃぶりつき
ひたすら無心に亀頭を舐めまわして二人の
体液を一滴残さずすすりあげる……

ホントにナナミは
チ○ポしやぶるの
上手だよなあ♡

んぐっ

もぶう

ふぶっ

おぶっ

んあああつ！
お姉ちゃんの
バキュームフエラ
僕 好き♡

お姉ちゃんが
お嫁さんになって
くれたら僕もう
死んでもいいよ♡

血の繋がった愛する父と弟の
いきり立った肉棒を二本同時に
愛撫できる夢のようなひと時に
心の底から酔い痴れる少女の姿が
ここにあった……

父親と弟のチ○ポ……
いくら舐めても飽きない味……
一度味わったら もう止まらない
やめられない……

んふう

はへえ

ほう

マジ美味ちい
二人の精液全部
飲ませてえ！
ナナミだけの
ご褒美い♡

家出した母の代わりに
実の娘が父の性欲を受け止める……

母のいない弟のために
その淫らな肉体でもって
心の淋しさを埋めてあげようと
必死に性的に奉仕する姉……

んむう
おぼお

ずずず

じゅるる

ぢゅる

しゅ

びゅ

あむう
んも

早く出してえ
この玉袋に
溜まってるの

んえう
はむう

ドロっドロの
精液いっっぱい
出してえ！ナナミ
げんぶ飲んで
あげるから♡

爆乳○学生少女ナナミの
歪みきった母性が溢れ出した
親子三人での初夜……



はあああ
早くうう早く
出してえ♡

二人の同時に
飲みたあうい！
んあああうん



んえああ
出たあ♡

おいちい！
家族の精液
マジ嬉しい♡

おーあ

えああ

あぐっ

ナナミの口に
ぜうんぶ
吐き出してえ！
二人の子種汁
大好きい♡

へああ

血を分けた肉親の放出する大量の温かい精液にまみれて
ナナミは感動に打ち震える...

弟に…父親に替わる替わる 凄まじい量の精液を
その口やおま○この中に ぶちまけられ続ける少女ナナミ…

んはあ

はぶあつ

もっほ
ひょろい

ドロドロれ
おいひい
♡

三人の持つ巨大な睾丸は今
彼女を悦ばせるためだけに
ひたすら精液を溜め込み続け
その夜 ナナミへの歪んだ愛情
と共に とめどなく溢れ出させた…

んぐああ

へああ

可愛い弟が必死になって姉の口内に精を注ぎ込む…
優しい姉は回を大きく開けたまま彼の想いを受け止めてあげた…

ららみ
ひああ
へえ

おぼお

誰にも邪魔されずに家族三人 思う存分愛しあえる至福のひと時…
辛かった逃避行の苦勞が やっと今 淫欲にまみれながら報われた…

廃屋のすぐそばにある滝で
体液まみれのカラダを
清めあう三人...

はああ

へはああああ
お姉ちゃん♡

もっとお！
もっと強く
シゴいてえ

おおおっ！
ナナミいい！
ナナミいい！！

僕達三人
死ぬまで一
緒だよっ！

やがてナナミは実の父の子を孕むだろう...
この先 一体どうするつもりなのか...
このまま山中で互いの性欲をぶつけ合いながら
野人のように暮らし続けていくのか...

日々を激しい近親相姦に狂い耽って過ごす事しか頭にない
この三人に そんな不安はないらしい...

終わることの無い近親相姦の快楽に溺れる
父と娘 姉と弟...

大きな乳房の淫らなカラダを持った少女 ナナミ
彼女の肉体は まるで麻薬のように男の心を虜にして
中毒にしてしまう...

彼女自身はそれとは気づかないままに
いつまでもずっと実の父と弟の肉体を
セックスに狂わせ続けていく...

無限に続く肉親同士の愛欲劇...
家出した母の代わりに妻となり
母親の役目も果たそうとナナミの
健気なまでの肉体奉仕は
いつまでも終わらない...

おしまい

あとがき

お買い上げ下さり とうもありがとうございました。

誰にも気兼ねなく屋外で思う存分 淫行に耽る親子三人
そんな話を描きたくて この度仕上がったのが本作でした。

本当は20ページほどを短期間で描き上げて発表しようと
目論んでネームを描き始めたら 考えていた通りに収まらなくて
こんな風になりました。いかがでしたでしょうか？

当初は 娘のナナミちゃんが堕ち尽くした頃に債権者の男達が大勢で山奥にやって来て 彼女を輪姦し乱交したおしでから 借金のかたに連れ去る…といったオチを考えていたんですが それはまた別の機会に…。

次回もよろしければお付き合い下さいませ。
これからもよろしくお願いします。

ナナミ
お姉ちゃん



一番始めに鉛筆で描いた
キャラ設定の描き起こし絵

お父さん

マサキ(マー君)

おまけコーナー

作画風景 接写画像

今回 おまけイラストが皆無なので
無理やり作ったページです...

液晶ペンタブレットを
使ってみたいにやー。。。...



鉛筆描きのキヤラ描き絵

この作品を作画中
傍らにぶら下げて
チラチラ見ながら
デジタルのペン入れを
していました。。。...

お父さんはやんちゃなヒトで
クモの刺青がある設定だったり
していました...

原稿ページ画像の羅列

モニター画面



始めの頃は鉛筆描きのネームのスキヤン絵
が並ぶのみの 先が思いやられる不毛な気分
にさせられる画面でしたが...

黙々と作画を続けて ようやく
完成原稿のみで画面を埋めることが
出来ました...

これより本編の「ふきだし」

「テキスト」



「効果線」「オノマトペ」無い

バージョンページです





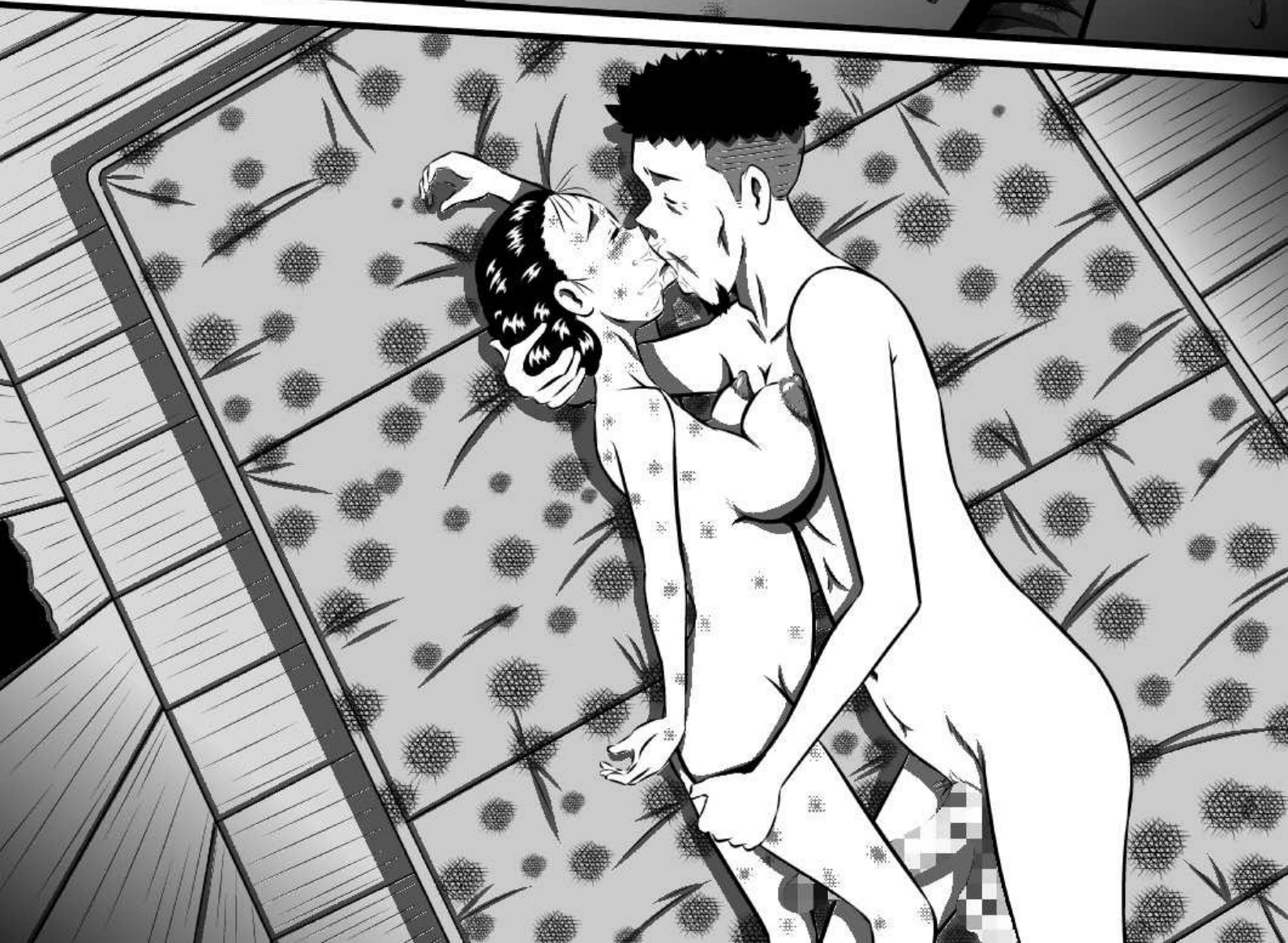




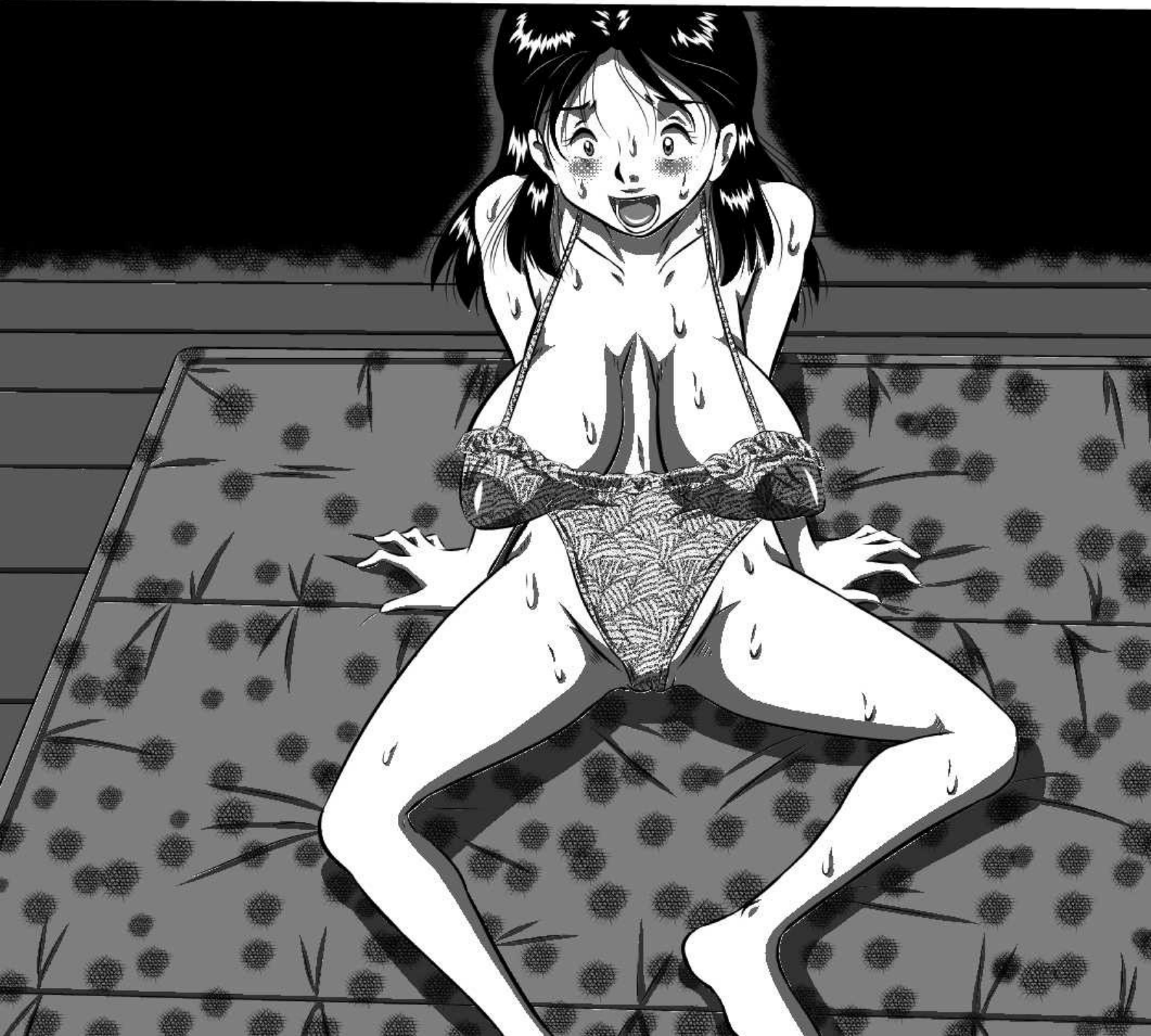




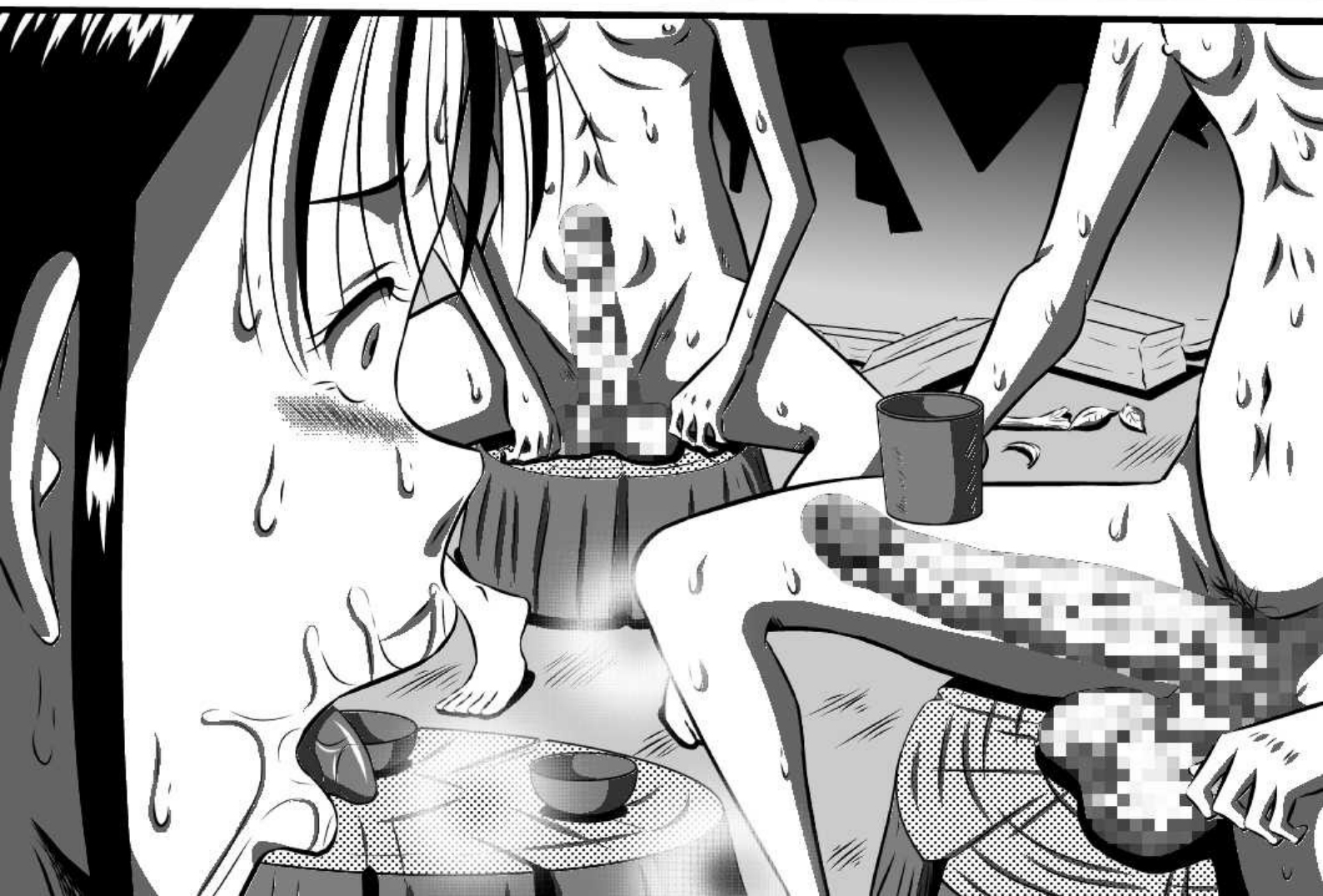


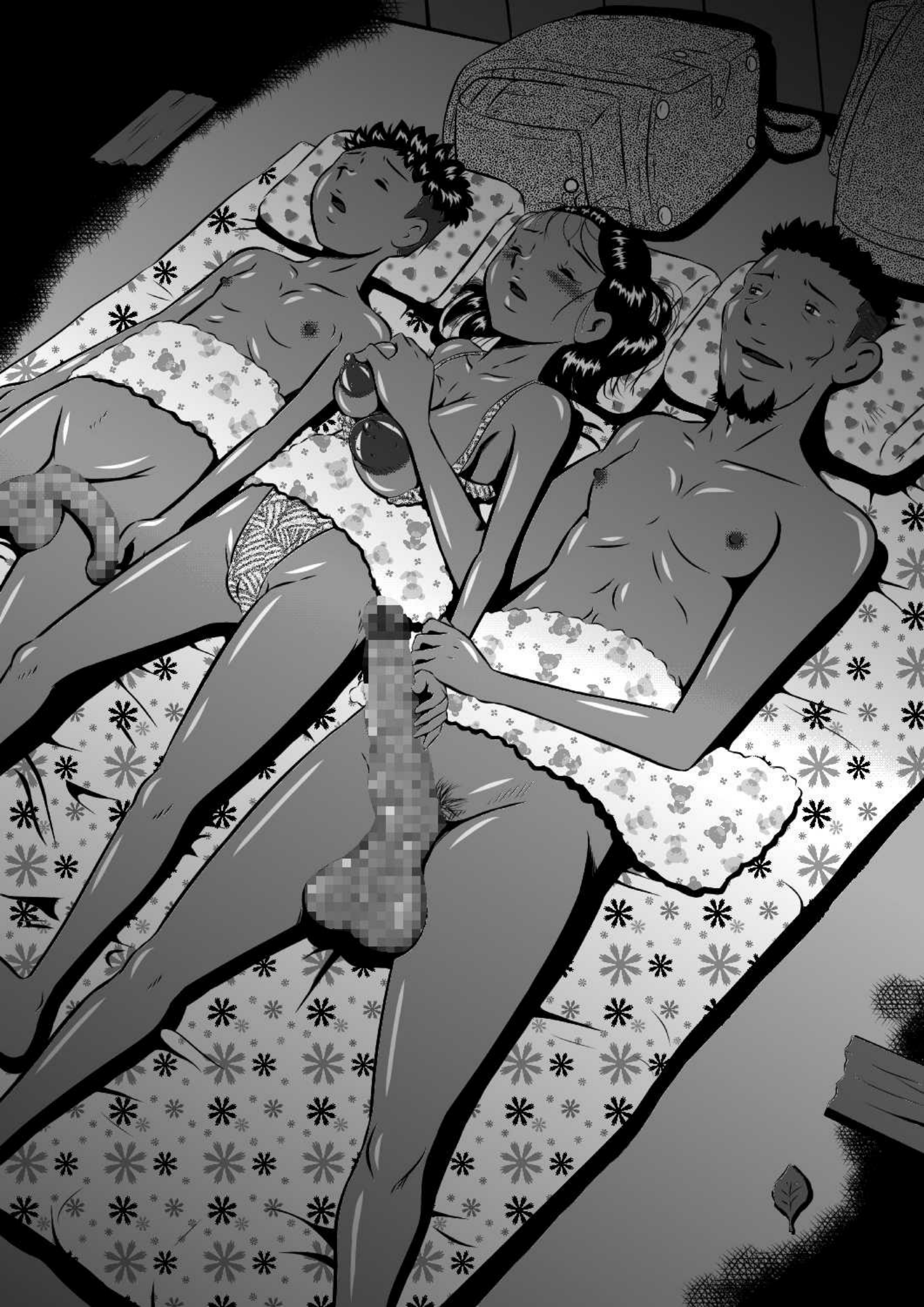


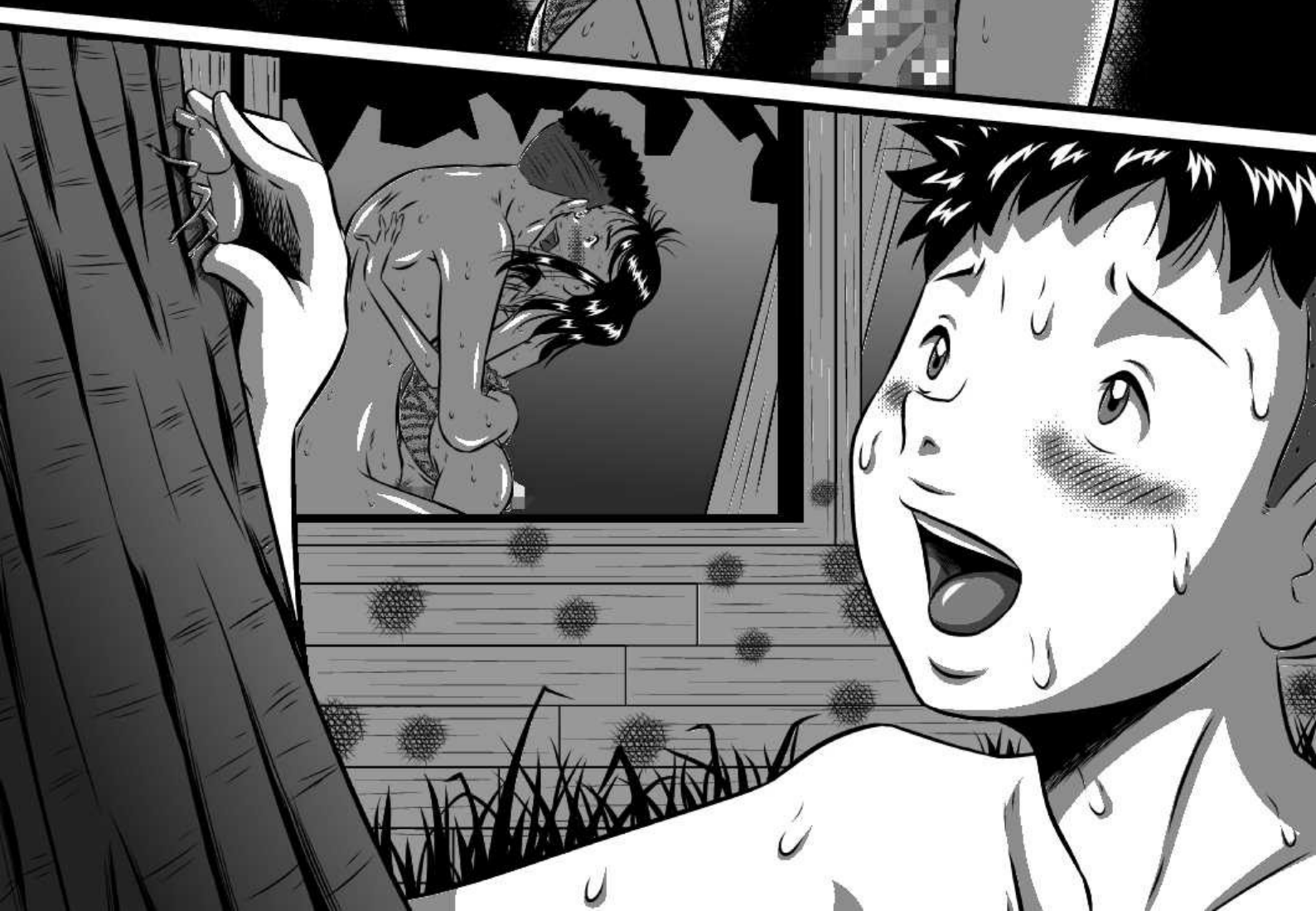












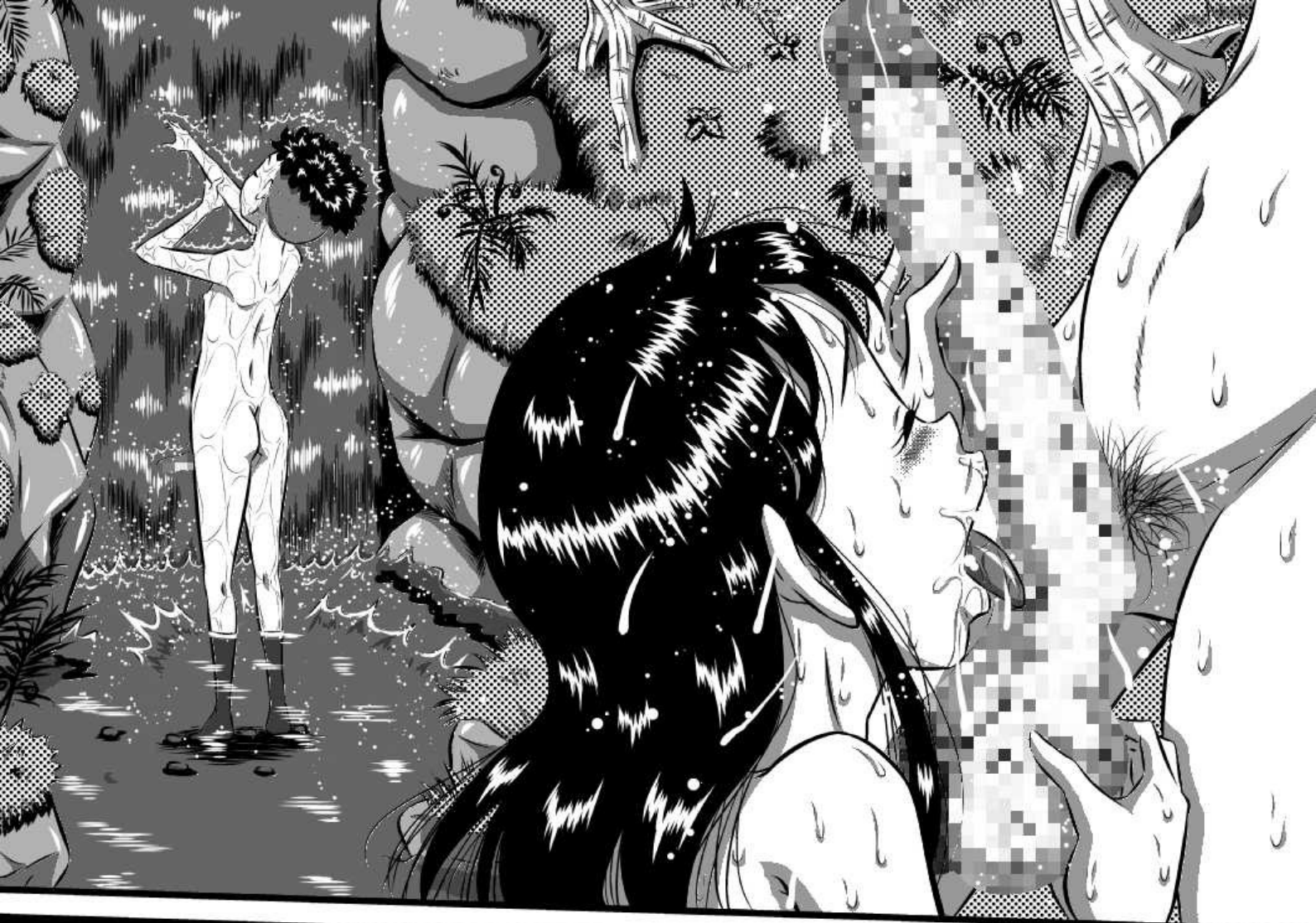




























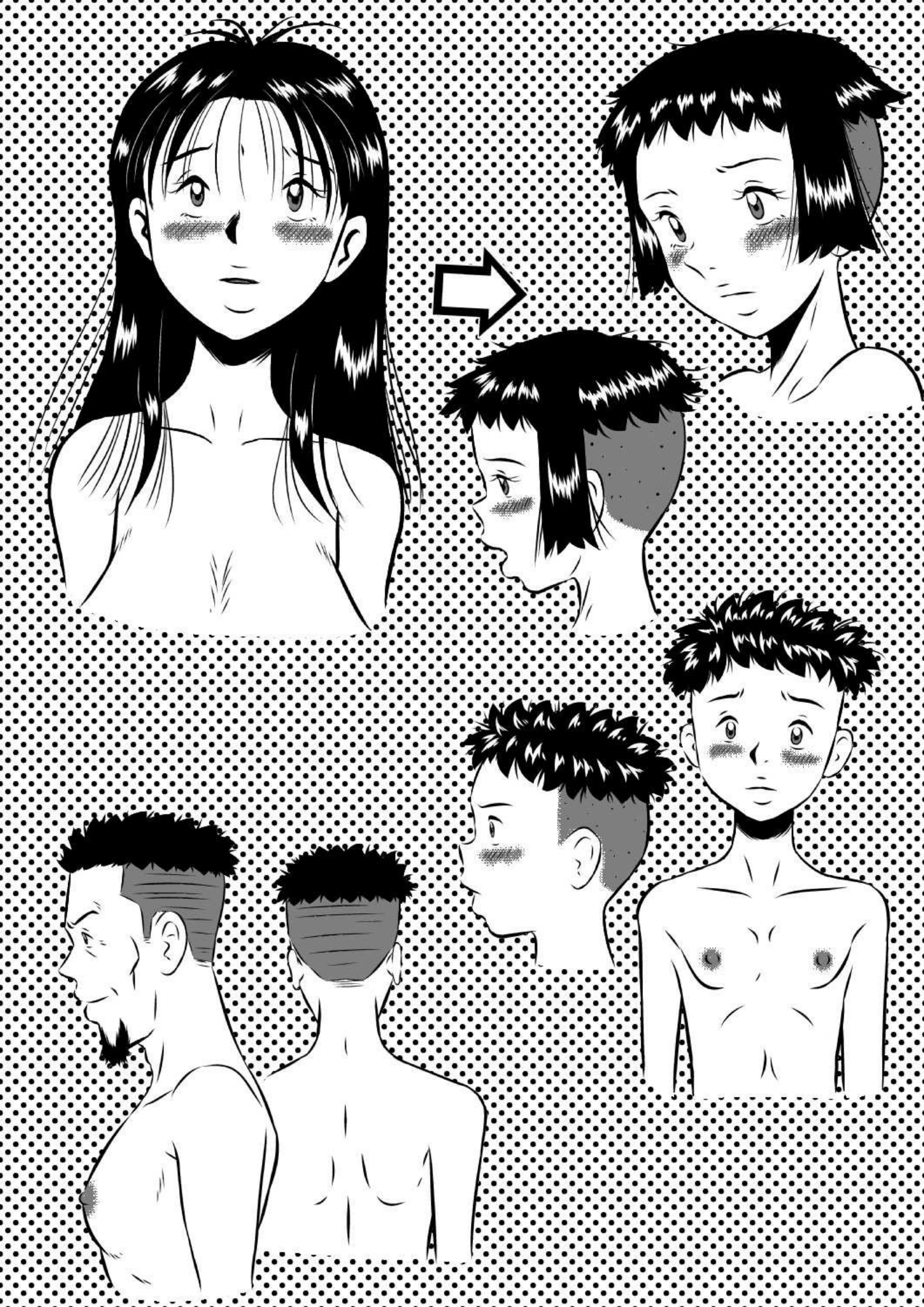














これより本編のさらに



「白濁液描写」無し
バージョングレージです





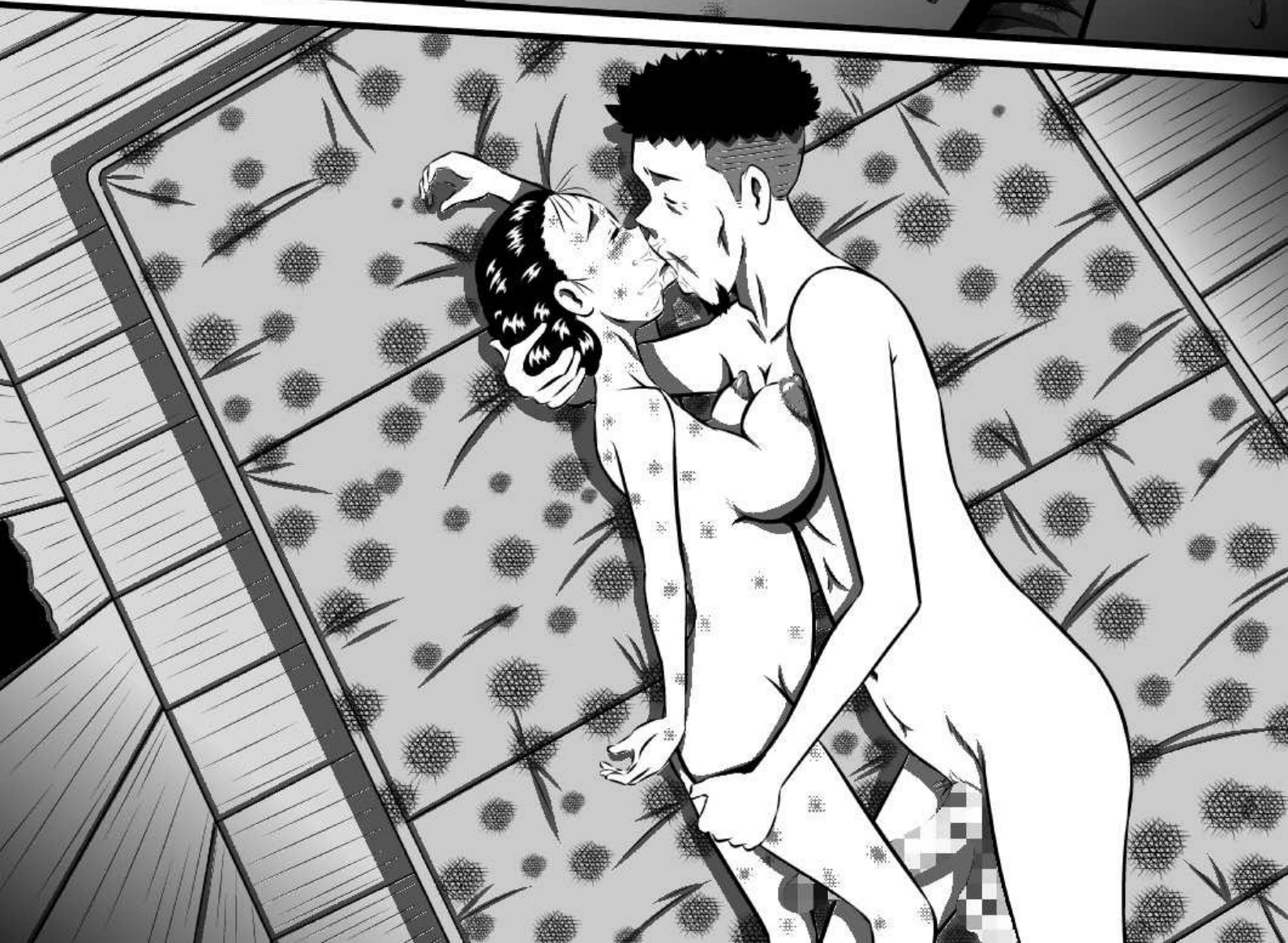




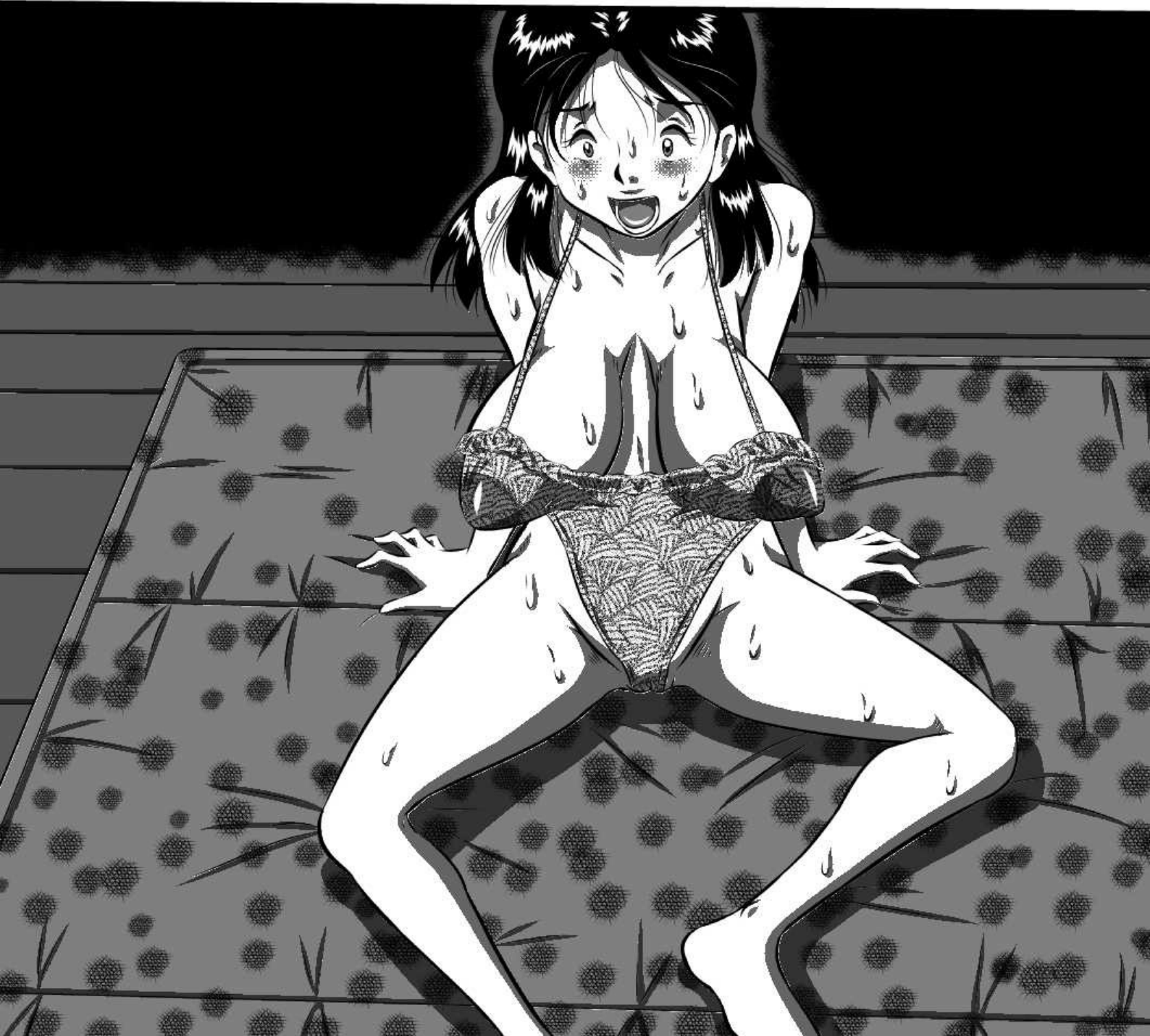




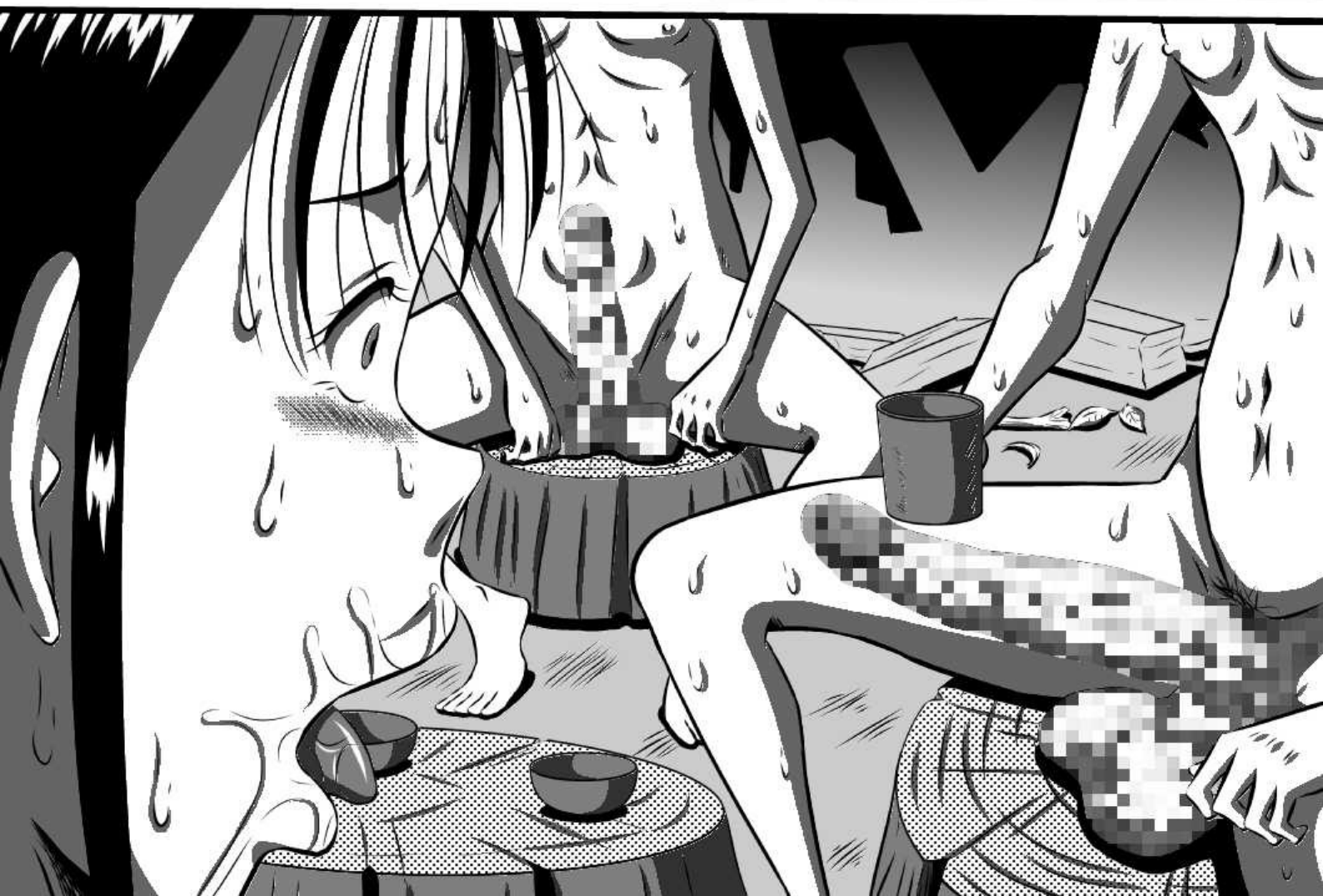


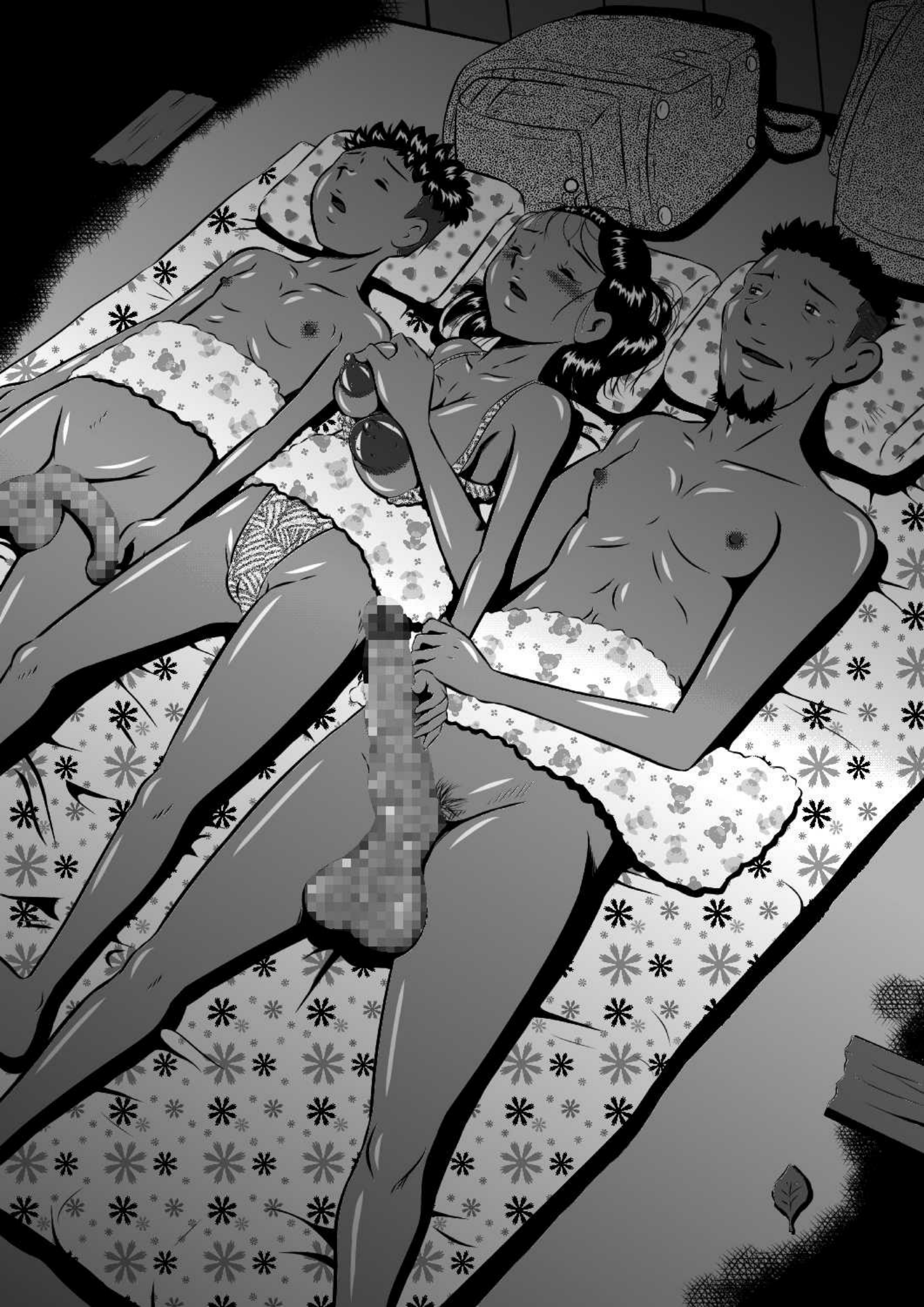


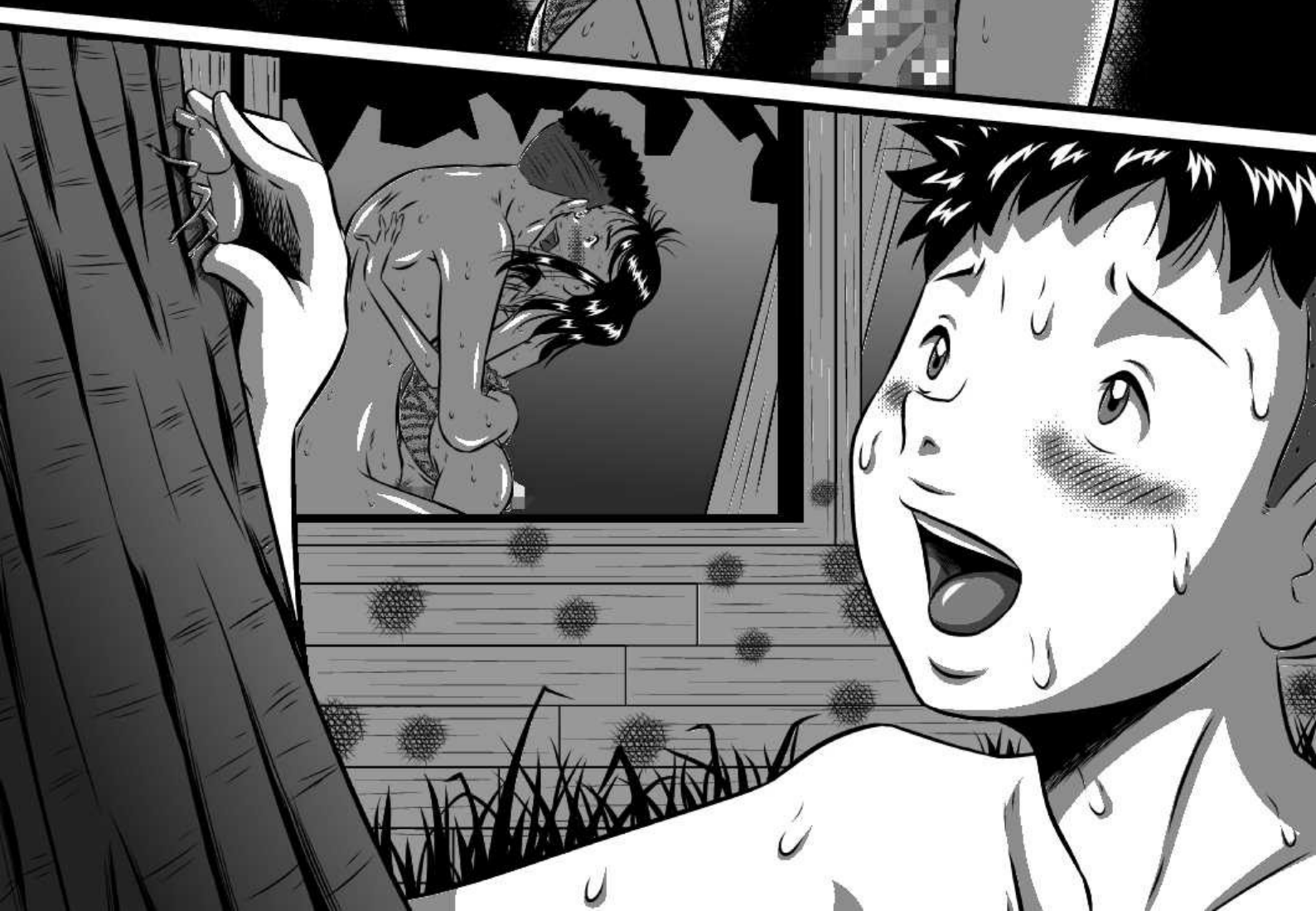












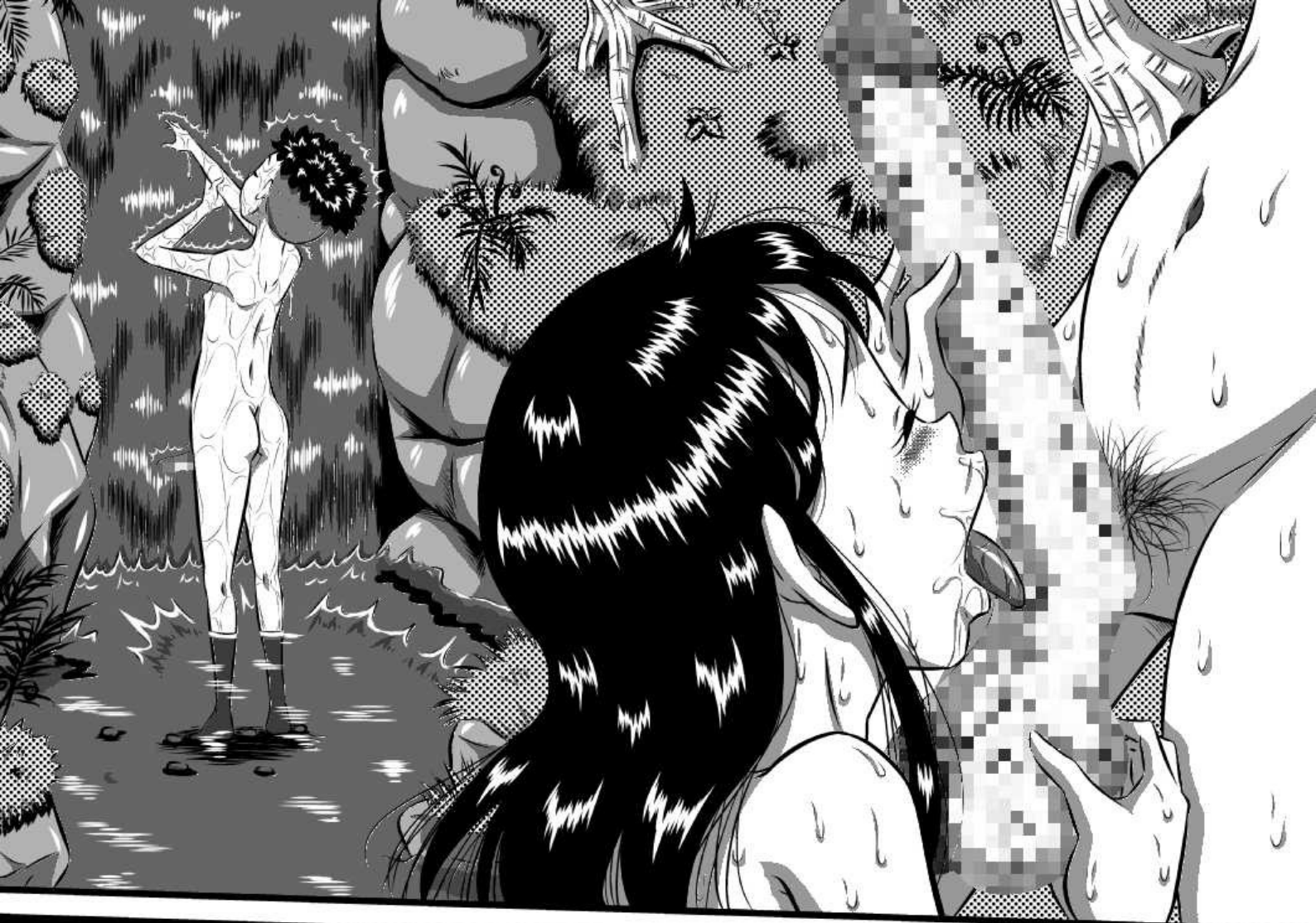




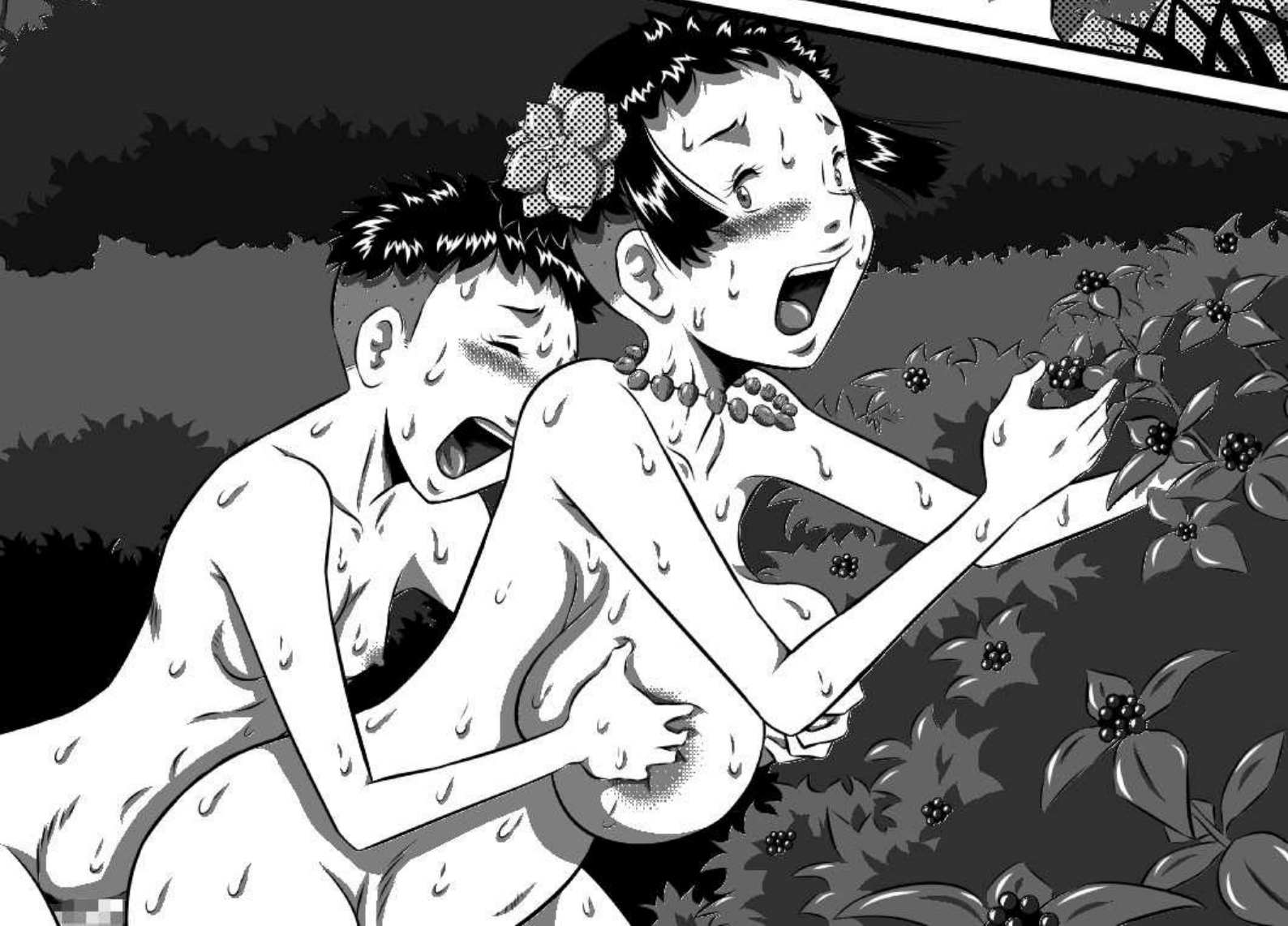










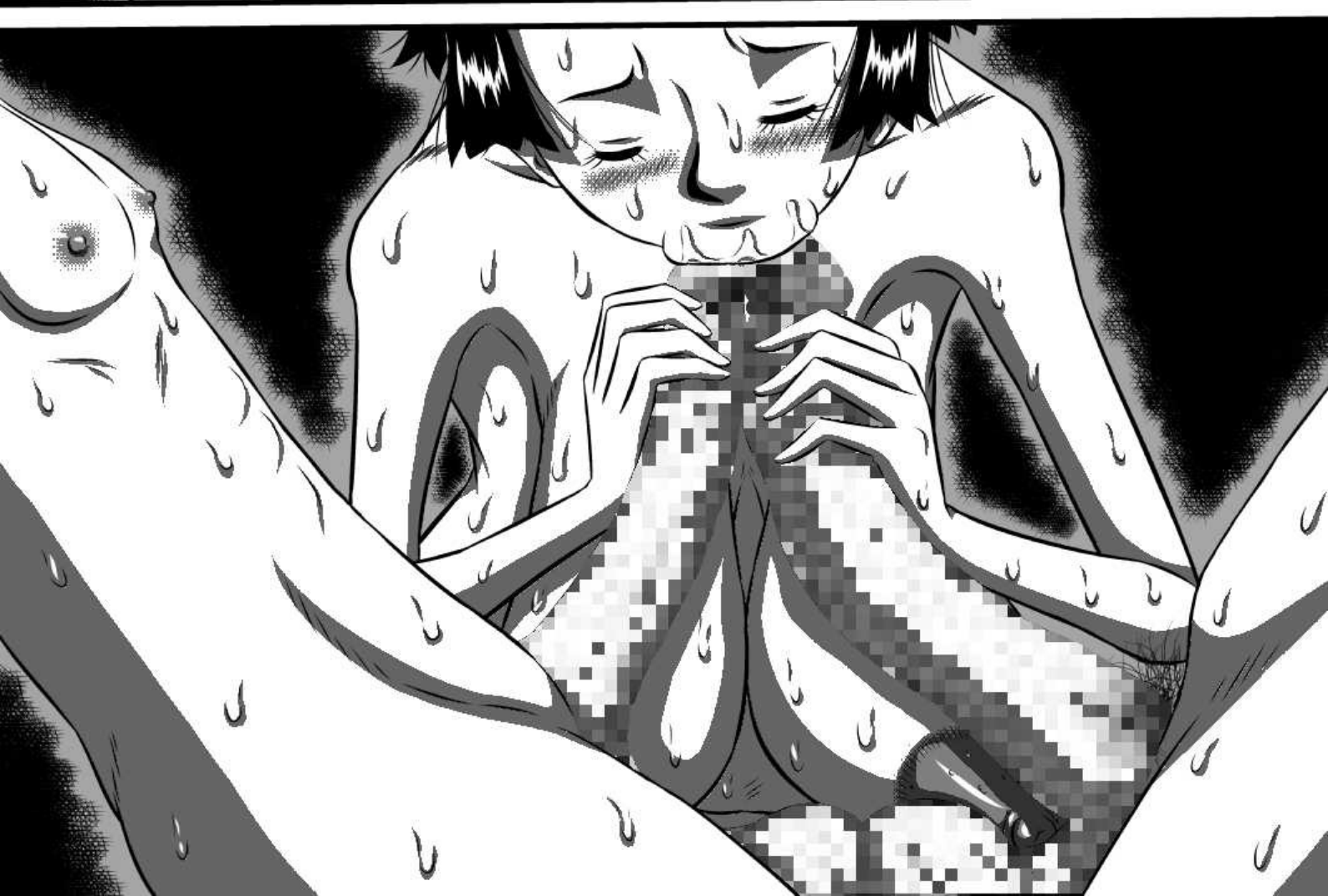
























作品の無断転載、違法コピー、ネットへの
無断アップロード等は厳禁、お願いします。

連絡先

marutanishi1182@gmail.com

<http://pixiv.me/takasi4445>

<http://b.dlsite.net/RG277581>

上記いずれかから、どうぞ。

宣伝のページ

千尋はふたりのお嫁さん

白濁天使くるみちゃん

みるく工房 画 ふつうのイラスト集

いもうと詩織の肉体を...先生と僕とで...

お姉ちゃん大好き

爆乳妹ちさな、真夜中の乳翳り
父娘ふたり、肉欲と乳辱の狂宴！

妹、千咲は闇ダンサー 大勢の男達に翳りまわされ、
ドロドロに堕ちてゆく、幼く淫らな爆乳ボディ

奈々子、お父さんだけじゃガマンできないっ！

母×息子+父×娘！今夜も近親相姦(セックス)しナイト！

垂れ気味爆乳・ポテ腹少女 雪乃さゆり
放課後集団輪姦倶楽部

母×息子×父×娘！今夜も近親相姦^{セックス}しナイト！
さあ、家族みんなで！

南の孤島の奇跡の巨乳少女“やよい”と“なずな”
先生とヒミツの身体測定

ぼくの妹 ^{マリア}麻里亜...
兄の知らない彼女の裏の顔...「前編」

僕のママはショタ狂い！親友に寝取られる僕のママ...

ぼくの妹 麻里亜...
兄の知らない彼女の裏の顔...「後編」

爆乳妹さあや ハタチ！
ヒミツの緊縛入社試験

以上 16作品もどうぞよろしくお願いします。



本作はこれにて以上です。
お付き合い下さいまして
どうもありがとうございました。

先生に苦輪をプレゼントされ
とびの やよいちゃん
縄で縛られて遊ぶ時の必需品

やよいは先生と出会って
数時間のうちに彼の前で
裸になって 自身の陰部を
さらけ出していた。

初めて やよいを裸にした時
彼女の乳房のあまりの大きさに
驚愕する先生。

次回作も頑張ります。
これからもよろしくお願いします。

やよいは彼女自慢の豊満な乳房を
ギューンとに縛りあげられて
喘ぐのが大好き♡

またね

みらく工房

まだ〇学〇年生の〇〇の肉々
その特〇極太の〇〇を
容赦なく突き立

またね

またね